



明石市立二見中学校
第2学年(72回生)学年通信
平成30(2018)年 7月10日
第98号

性教育講演会「人間の生と性を考える」を聞いて

自分は今日の話聞いて、今までの考え方がガラッと変わりました。

1つ目は小学生、中学生でも赤ちゃんができるということです。今まで赤ちゃんは大人になってからできるのがあたりまえだと思ってたけど、月経がきたら年齢に関係なくできるということを知ってびっくりしました。

2つ目は赤ちゃんを墮ろすことが大変だということです。今までもドラマやマンガで赤ちゃんを墮ろすというシーンをよく見たので、自分は赤ちゃんを墮ろすことは簡単で、すぐに終わるんだと思ってたけど、今日の話聞いて墮ろすためにはいくつかの条件があったりして大変だと思ったし、もし墮ろせることになったとしても、それを手伝う人がどんな気持ちかを考えたら、やっぱり赤ちゃんのためにも墮ろすことはダメだと思いました。

遠い所から自分たちのために教えに来てくださり、ありがとうございます。すごく分かりやすかったです。(女子)

最近「虐待」とかのニュースが多くて、最初の5歳の女の子のことも知っていて、テレビで見たときは「ひどいなあ」ぐらいしか考えませんでした。でも命の重みの話を聞いて、若い年で子どもを産んでいる人がどんどん増えているから、もっと深刻に考えないといけないと思いました。

「子どもは親を選べない」孤児院で自分の親を待っていて、人が来たら自分の親が迎えに来たと思って抱きついてくるということを知ると、胸が痛くなりました。親に反抗したりよくするけど、自分の親がいなくて毎日悲しんでいる子どもがいるので、もっと親を大切にしようと思いました。(男子)

今までにあるような普通の講演ではなく、全く新しい感じでとても心に残ったし、脳裏に焼き付けられました。結構ストレートな感じで、地声ではきはきととても分かりやすく話してくださって、ちょっとミュージカルっぽく聞こえたところもありました。

私たちがあやふやに、ふわっとした知識しか身につけていない性情報を、こうしてしっかりと学べてすごく良い機会になりました。

それに軽はずみな気持ちで子どもを産んだら残された子どもたちはいったいどんな思いでこの先生きていくのか考えると、胸が苦しくなりました。

そして、おっしゃっていたことの中で、「生まれることは選べないけど、生きる道は選べる」ということばをしっかりと頭に刻んでおきたいと思いました。(女子)

今日の講演会を聞いて思ったことは、大人でも子どもでも行動に責任があるということです。自分の行動に責任を持ち、よく考えていかなければならないと思いました。

2つ目は野村先生がおっしゃっていたように、子どもは親を選ぶことができないから、親から虐待を受けたり捨てられたりする子どもも実際にいるので、自分の生活をあたりまえに思わず、親や家族に感謝する気持ちを大切にしていきたいです。(男子)



私は父や母にありがとうと言いたくなりました。こういうのは全然まだまだだと思ってたけど、自分にいつあってもおかしくないことなんだと思いました。

私は5歳の子の手紙を聞いて、自分が5歳の時は手紙を書くことができなかったのと思いました。でも、その5歳の子は自分が虐待されているのに、自分が悪いと書いているのにびっくりしました。私は5歳の時、自分が周りから置いていかれて、すごく嫌で泣いたり暴れたりしていました。そんな自分が今さらですがバカだったなと思いました。

私は母や父に感謝できないと思いました。母は私が元気がないと話しかけてくれるし、家族と一緒に暮らせて良かったととても思いました。(女子)

いまの世の中、人間が人間を見捨てているのよね。

親が子を、子が親を、兄が弟を、友が友を、隣人が隣人を。

平和は微笑みから始まります。

マザー・テレサ

思春期のちょうど中学生くらいの年は一番大切な時期だし、男女ともに身体に起こる変化は、男子の大変さ、女子は女子の大変さがあるけど、お互い異性の大変さは分かりませんでした。でも今日の講演会ではっきり言ってくださったので、女子はお腹痛いし、身体もだるいし大変やと思ってたけど、私が男子なら男子の方がもっと大変なのかもと思いました。

あと、中2の子が出産したのも衝撃だったし、中絶も「途中で出産することをやめること」としか知らなかったし、子宮から出される時に腕や足、胸、首などがもげたり、そのまま出てきても、必死で逃げようとするしぐさをするのがとても心に残りました。

子どもを出産したり、育てたりはとても大変で、つらかったり苦しい思いもしながら大事に私を育ててくれた両親に感謝して生きていきたいです。(女子)

文化祭自由曲決定しました!!

1組 「証」

4組 「未来へ」

2組 「COSMOS」

5組 「虹」

3組 「信じる」

6組 「友～旅立ちの時～」